

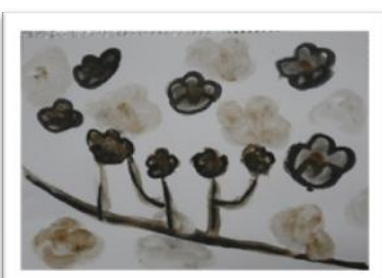


— 宝々せ —

PLAY PARK
プレイパーク

如月

開催のようす・お知らせ



● プレイパーク開催のようす

～通常プレイパーク～

H24年 2月 5日 (日)	
天候: 晴れ時々曇り	気温: 10.0°C
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬, □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー □折り紙飛行機 □	
参加者数	70 人
スタッフ: 3人	
・リーダー: けんこば ・緑化協会: 野田、小川	

※2月12日は、斜面改修工事に伴い
プレイパークは おやすみでした

H24年 2月 19日 (日)	
天候: 曇り時々晴れ・雪	気温: 7.0°C
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬, □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー □折り紙飛行機 □	
参加者数	110 人
スタッフ: 3人	
・リーダー: けんこば ・緑化協会: 野田、小川	

H24年 2月 26日 (日)	
天候: 曇り時々晴れ・雪	気温: 7.0°C
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー □折り紙飛行機	
参加者数	120 人
スタッフ: 3人	
・リーダー: けんこば ・緑化協会: 野田・小川	

○気温が低い日でも
家族で コマ周しや、
ストラックアウトを
楽しんでいます！

・今年は2センチほどの氷が
張りました。こんな氷の下でも
↓メダカは生きていますよ



○この時期は、お父さんが
大活躍?!
例年より来園者が、すこし
多いようです



○18日に、大雪が降り、京都市内はどこも真っ白。
そり遊びやかまくら作りなどを
年に1・2度の貴重な「雪国」気分を味わいました。
ほとんど地面が見えるようになるまで、
ずっと すべてっていましたよ～～～～



・フラフープ二重の
最高記録が、またまた
更新されました
～～拍手～～



・完全防寒で
あそびにきてます！



★★アートワークショップ

2月26日(日) 10:30～15:30

「土のぐで絵を描こう」 を開催！



・フィールド内の土を使って、天然素材のえのぐづくりを行い、
そのえのぐを使って絵を描いてみました！
紀元前何世紀も前から、人間はえのぐをつくり、絵を描いてきました。
そんな歴史も学びながら、一日じっくり時間をかけて取り組みました。
根気のいる作業の連続でしたが、みんなとっても熱心。
'自分だけの色' づくりに夢中... まだまだ違う色を作りたい! という
気持ちを抑えて 作品を仕上げましたよ。
(みんなの作品は表紙を見てください!)



・土を採取したあとは、
ゴミなどの不純物を
取り除いたりしながら、
色を分けていきます
・石も砕いてみました...



・こんなにたくさんの
色が出現しました！



H24年 2月 4日 (土)
13:00～16:00
天候:晴れ時々曇り 気温: 8.0℃
プログラム 「勾玉をつくろう・石器をつかってみよう」
【指導*協力:財)京都市埋蔵文化財研究所】
参加者数 24 人
スタッフ: 4 人 ・講師:埋蔵文化財研究所スタッフ2名 ・緑化協会:野田・小川

●1年を通じて、財)京都市埋蔵文化財研究所の協力で開催している「古代のくらし体験シリーズ」。全4回+今年は、祭祀イベントも含め、5回にわたって自然を活かした衣食住のいろいろな体験をしてきました。今年は2年目でしたが、リピーターも多く、1回の体験で終わらずに、何度も実践することで理解や技術を深めていくという、大切な経験ができてはすばらしいですね★
今回の「勾玉づくり」は、おともも夢中。
ひとつひとつ全然ちがう、個性的な作品が出来上がりました！



講師は、おなじみの埋蔵文化財研究所吉崎さんです！



小さな小屋が熱気ムンムン



根気よく、何種類ものやすりやサンドペーパーで、形をつくり整えていきます



石の矢じり
なかなか鋭いですね
見てください
この出で立ち！



本日は、
縄文時代・弥生時代の人々の暮らし体験シリーズの最終回

- *あんぎんあみの衣装をまとい
- *勾玉づくり
- *石の矢じりづくりを見学
- *火起こし 体験

おともも子どもも乗り乗りで、
あんぎんあみで作った、縄文時代の衣装を着ています



火起こし中



H24年 2月 18日 (土)
13:00～16:30
天候:雪時々曇り 気温: 3.0℃
プログラム 「森のクラフト作品をつくろう！」 ～森の恵みをつかって自由にアート～
参加者数 7 人
スタッフ: 2人 ・リーダー: ・緑化協会:野田・小川

●大雪となったこの日。子供の楽園もまるで雪国となり、小屋もなんだかとても風情がありました。雪が降ったりやんだりする中、来園者も少なく精鋭の参加者たちは、じっくりとクラフトを楽しみました。
外ではそりすべりに興じる家族もありましたが、それには目もくれず？
山小屋風の温かい室内で、思い思いの作品を作りあげました。
また、いつもとは違った森の顔にも出会えた一日でした！



ゆったりと時間を過ごして
いくつもの作品をつくりました



雪国の山小屋の雰囲気がただよいます



本日の基本クラフト
‘えんぴつ型アクセサリ’ づくり
はじめて、ナイフを使う
基本レッスンをしながらつくります



はじめての
カッターナイフ使いも
なかなかのものです。

今年の最年少も
昨年に引き続き
4歳でした！

参加者の父親があたたかい部屋で
クラフトを楽しんでいる間、
お母さんが 3時間かかってつくった
かまくら…子供なら定員2名！
(写真はお父さんの足です)



概 況

2月のプレイパーク&周辺の概況

- 真冬らしい天候が続いた2月。1月に引き続き、最高気温が10℃を超える日がほとんどない寒い毎日でしたが、多くの家族がプレイパークを訪れ、プレイパークはにぎやかでした。
中旬の大雪は、雪が不慣れな都会人にはびっくり……。雪景色の公園や山は、まるでメルヘンの世界が出現したにもかかわらず、来園者がかなり少なかったのは、残念でした。
- 寒冷期であることから、自然あそび教室は、室内でおこなえるアート・クラフト系のプログラムとしました。室内を基本に、少し屋外も利用するようなプログラムが喜ばれるようです。
- 3月に、カシナガ被害木のうち、広場に面した数本を伐採してもらう予定。大雪後、カシナガ被害木からの大きな落ち枝があり、かなり劣化が進んでいるようで、伐採が完了するまで注意が必要です。
また、森の再生に向けて、ゾーン内の木々の種を植える作業を積極的に進めています。
シカの進入をおさえ、下草や実生苗が育つ環境を取り戻していく対策が急務といえます。

◆通常プレイパーク◆

- 天候には、ある程度恵まれたため、この季節にしては、多くの来園者でにぎわいました。
- 2時ごろから閉園にかけての時間帯に、来園者が一気に増えてくる傾向がみられます。
- 高学年の男子の志向にあうような遊びは、一般的に危険とみなされることも多々あるのが実情のようです。
この年代の子供たちがおもいきり遊べるような場所・システムの確保についても、今後検討していきたいものです。
- 入りやすくなった森の道を利用したゲームなどを増やすとともに、安全管理などルールづくりも再設定していく予定です。

◆自然あそび教室+特別プログラム◆

- 今月のテーマは、'自然から作り出すアート'。外でのあそびが少し滞りがちな季節であり、じっくり屋内で、人が自然から多くの恵みとインスピレーションを得ながら、芸術を作り上げてきた、その一端を経験してもらいました。
- 5日(土)は、埋蔵文化財研究所とコラボで行っているシリーズのひとつ「勾玉づくり&石器利用」。縄文の衣装も着ての体験。来年は自分で衣装づくりも行う予定です。
- 18日(土)は、雪の一日。じっくりと「木の枝クラフト」づくりに取り組みました。4歳の子もカッターナイフを使って作品完成。お父さん、お母さんと一緒に大作づくりも楽しみました。
- 26日(日)は、「土えのぐで絵を描こう」。子供たちにとっては、鮮やかな色が作れないことが少し残念だったようですが、微妙な色の違いの魅力を感じてくれたようです。

- 春にむかい、そろそろ新芽や花のつぼみが始める季節となりました。
観察プログラムに活かしていくとともに、稚樹の発芽には特に気をつけて、保護していきたいものです。
見通しが非常によく、道以外にも自由に入れる状態となっているため、必要に応じて立ち入り制限エリアも設けていく予定です。
- 斜面の崩落部および大雨により深い溝が掘られている部分について、'蛇かごネット'による改修がおこなわれました。
細かい石の流出が抑えられ、日々の掃除などの管理もおこない易くなりました。人出が多くなっていく季節、幼児がネットで足をひっかけないよう、しばらく注視したいと思います。
- 3月より、平日1時間半程度の幼児向け「ミニプレイパーク」をはじめます(2回/月)。また、近隣のお母さん方にもその運営へ参加していただくことを目指しています。地域の方々に対する情報発信・交流の方法を充実していきたいものです。

